

顧客の軌跡データを利用した実購買行動解析による 購買/非購買判別

環境知能学研究室 梶本功弥 神原誠之 萩田紀博

研究目的

オンラインストアでの関連購買の推薦技術を**実店舗**で実現したい

例：Amazon.com

1.商品購買



2.関連購買商品の情報提示



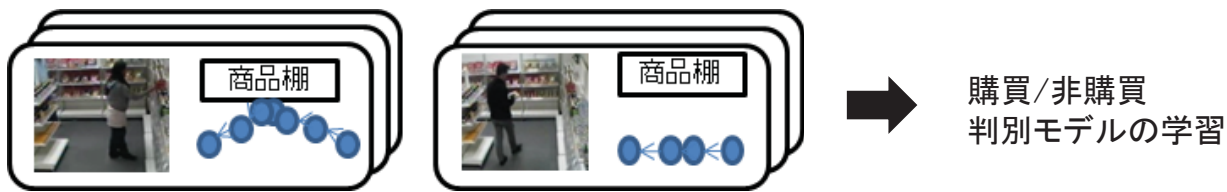
課題

実時間で商品購買の検出が必要

提案手法

購買の軌跡データ集合

非購買の軌跡データ集合

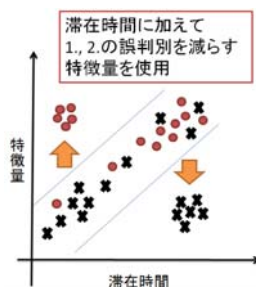
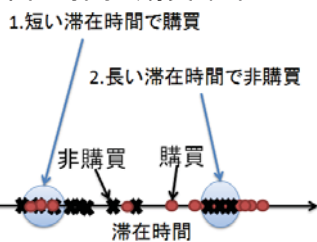


なぜ軌跡データ？

→ **プライバシー問題**に触れずに**誰でも**推商品薦を受けられる

判別に使用する特徴量

滞在時間と購買確率に正の相関



購買の行動特徴に注目

購買する人は非購買に比べて棚からの距離が近い

→ 棚に対する垂直方向の最小距離



実験

使用データ

場所：コンビニを模した実験用店舗

実験設定：昼食を買う

入力データ：104人分の軌跡データ

ビデオ映像から購買/非購買ラベル取得

		特徴量	
		滞在時間	滞在時間 + 棚に対する垂直方向の最小距離
商品	お弁当	0.7	0.75
カテゴリ	お茶	0.65	0.75

お弁当

お茶

